

寺報

No.644

令和3年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

親おやに良よき物ものを与あたえんと思おもいつ、
 せめてする事ことなくば、一日いちにちに二三にさん
 度ど笑ほほえみて向むかえとなり。

『上野殿御消息』



花見

(解説)

これから、五月は母の日で「お母さんありがとう」、そして六月は父の日で「お父さんありがとう」と書いた広告や宣伝などが新聞やテレビなどでひんばんに目につくと思われれます。

皆、その宣伝に乗せられ「私も何かしらのプレゼントを買わなくちゃ」と思ってしまう。

しかし、こういうふうに着目して親に品物を上げるだけでは余り意味がなく、ちゃんと真心を込めてプレゼントするのでなければだめなのです。

日蓮大聖人は、どんな高価な品物を上げるよりも、一番両親が喜んでくれるのは、子供の笑顔であると教えています。

ですから、日に二度か三度の笑顔を見せて上げればそれは素晴らしい親孝行になるのだという事です。我々が他の人の為に出来る修行の中に「布施行」というものがありますが、その中で笑顔で接する『和顔施』が説かれています。

どうか皆様もご両親だけではなく、出来るだけ多くの人達に笑顔の修行をしていきましょう。

四月十三日(火)

午後一時より

場所…大本堂

会 誕 降 御 祖 宗



善日磨(幼少の日蓮大聖人)

*日蓮大聖人様の記念すべき

第八百回目のお誕生日の日です。

*皆さんでお祝い致しますよう。

*お供物も受け付けます。

日蓮大聖人は鎌倉時代の貞応元年(一二二二)二月十六日、黒潮洗う安房の国(千葉県鴨川市)の小湊という小さな漁村にお生まれになりました。

この日の小湊の地は春の訪れを告げるように、草木は茂りまた花も美しく咲き、太陽は大きく光り輝き、清水もキラキラと照り映え、まるで偉人のご生誕を祝うような光景であったと語り伝えられています。

そして、大聖人のご生誕と同時に、庭先に清水がわき出て、そのお水を産湯に当てられ、また時ならぬ蓮華の花が咲き、更には海に鯛が群れ集まったとも伝えられています。

この善き日に生まれました子は『善日磨』と名付けられました。

このご誕生は、くしくもお釈迦様がお亡くなりになられた二月十五日の翌日に当ります。

これはまさにお釈迦様に代わり、最高の教えであります「法華経」を、末法の今の世の人に広める為に生まれ変わったのだといえるでしょう。

後に生家に建てられましたお寺は『誕生寺』と名付けられ、人々の信仰の場として繁栄しました。

『聖典の読誦と唱題行』の次第

- 礼拝文 「謹みて礼拝し奉る」 [4ページ]
- 開経偈 「無上甚深微妙の法」 [6ページ]
- 読経 「方便品第二」 [9ページ]

- 「如来寿量品第十六」 [13ページ]
- 「如来神力品第二十一」 [19ページ]
- 「観世音菩薩 普門品第二十五」 [23ページ]
- 「陀羅尼品第二十六」 [30ページ]
- 「普賢菩薩 勸発品第二十八」 [35ページ]

- 「夫れ懺悔は治病の」 [47ページ]
- 「祈 禱 鈔」 [67ページ]
- 「南無妙法蓮華経」
- 「此経 難持」 [72ページ]
- 「導師が唱えます」
- 「誓って南無妙法蓮」 [76ページ]
- 「なむめうほうれん」 [77ページ]

- 懺悔文
- 御妙判
- 御題目
- 宝塔品偈
- 回向文
- 四誓願
- 三整唱
- 弾指合掌

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十四日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席です】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

霊断

檀信徒の皆様で、何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。宗旨宗派は問いません。

お題目に生きた人

大塩平八郎（一七九三～一八三七）

江戸時代の後期の天保八年（一八三七）二月、日本歴史上有名な『大塩平八郎の乱』が起りました。平八郎は幼い時両親を亡くし、後に祖父の跡を継いで大阪町奉行所の与力という役職につき、数々の功績をあげましたが、三十八歳の時、養子の格之助に職を譲り、私塾『洗心洞』を開き子弟に学問の教育を始めました。

また平八郎の家は、代々熱心な法華経の信者でしたので、その影響を受けました平八郎も、日に三度の仏祖三宝様への給仕は怠らなかつたといわれています。

平八郎は常に民衆の事を思いその生活の安定を考えていましたので、不正な事をする役人や悪徳商人を許す事は出来ませんでした。

それは、根底に日蓮大聖人の法華経思想があり、また正法の為には身命を惜しまず戦うという大聖人の生き方が平八郎の確固たる信念を生み出したといえるでしょう。

天保四年に入って気候が不順となり、冷害・長雨・洪水などが起り、まず東北地方が大飢饉となりその後同七年には全国的に広がっていきました。

これが世にいう『天保の大飢饉』です。

当時大阪は『天下の台所』といわれ、経済の中心地でありましたが、このように飢え死にする者が多いのに庶民を助けるような対策をせずに、役人は米を売る事を禁じたり、また結託した商人も米を買い占めて値段をつりあげたりしていました。

これで、貧しい人達は米を買えなくなり、行き倒れが巷にあふれ、大阪城のお堀には身を投げる人もたくさんいたといわれています。

平八郎はこの様子を見過ごす事は出来ず、役人や大商人達に米蔵を開く事や救済金の援助を申し入れましたが、誰も話を聞き入れてはくれませんでした。

そこで、自ら所蔵する書籍を売って一万人余りの貧しい人々に与えましたが、その程度ではとても間に合いませんでした。

そして、ついに不正役人と悪徳商人を打ち倒し、貧民を救う為に兵を挙げる決意を固めたのでした。

平八郎は私財を全て売り払い、同志をつのり、武器を調達し、天保八年二月十九日に兵を起したのでした。

『南無妙法蓮華経』『救民』『天照皇大神宮』と書いた旗を押し立てて兵を進めました。

だが、ここで同志の中の一人が裏切り、密告をした為にこの挙兵は半日で鎮圧されてしまいました。

皆、志し半ばで残念な結果になってしまったのです。平八郎と格之助の父子はいったん身を隠しましたが、二月二十七日には見つかり、最後は自害してしまいました。

しかし、この『大塩平八郎の乱』は多くの貧民を救おうとする素晴らしい精神からの挙兵であり、また多くの人々が心から熱望していた事でもありましたので、その後も平八郎は人々から尊敬され、皆から『大塩さま』『平八郎さま』とたたえられたのでした。

大塩平八郎の法号（戒名）は、後に当時の身延山の法主（住職）より、その功績が認められ『大勇院殿中齋日明大居士』と授けられました。

日常の中に仏世界

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきています。それが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。ですから三席から特席にも無料で上がれます。

詳細は事務所まで！

『朝のお勤め』のススめ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞ一緒に読み下さい。

初めは難しいでしょうが、繰り返し事で段々慣れてくると思いますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申し込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけてまして、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

◎注朝の『祈願・供養』・・・一件、一ヶ月三千元

『提灯』の募集!

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」の時に掲揚します『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円で年間の管理費が二千元となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒タイムズ・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『靈神符』を持ちましょう!

最近は何いもやらぬ災難・事件・事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事に会われています。

皆様も「私は大丈夫」という考えは止めて、素直に毎月のお守り

【靈神符】をお持ちになり、身を守ってもらう様にしましょう。



お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千円)

◎普通幅広塔婆 (二千六百元)

◎五十回忌用塔婆 (三千円)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千六百元)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・四千五百円 ◎小・四千三百円 【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎極小三千五百円から各種サイズがあります。

大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

*榎入大黒天 (分割可能)

◎一升榎 (手彫・五万円) (機械彫・三万円)

◎五合榎 (手彫・四万円) 【魂入・御幣代を含む】

*お経本

◎聖典 (八百円)

・ついたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千八百円)
・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百元) ・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百元) ・CD (千円)

*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千円)

*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札 (三千元)

*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

*朝光水 (身延山の目薬・六百元)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

四月の行事

一 日(木) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてお守りを交換しましょう。
- ・聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(火) 日蓮大聖人の御回向 午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一(訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六(真読・漢字読み))
- ・今月迄、各講中のお当番はお休みです。
- ・皆様も進んで参拝し、一緒にお経を唱えましょう。

十三日(火) 宗祖御降誕会 午後一時より

⑨日蓮大聖人の800回目のお誕生日です。

二十四日(土) 檀信徒研修会【唱題行】午後七時より
⑩どなた様でもご自由に参加出来ます。

☆奉仕のお知らせ

五日(月) 倉庫整理と境内地の大清掃 教宣部男女・・・午前十時より

- *今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々の奉仕をよろしくお願い致します。
- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

☆行事のご案内

*盛運祈願会

- ・毎月のお守り(霊神符)を必ず着体しましょう。
- ・一日午後一時からのお勤めに参拝しましょう。

*十三日のお勤め

- ・日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

*朝のお勤め

- ・毎朝、午前六時半より(一時間十分)
- ・聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

☆剣守札(星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付ていますので、お申込み下さい。



一体・・・二〇〇円